

資本主義社会における技術と科学の進歩

スエットシステム

技術と科学の進歩は、資本主義社会では汗を搾りだす技倆の進歩を意味する。
テイラーの著書から実例をしめそう。

	旧方式	新方式
積荷に従事する労働者の数	500	140
労働者一人あたりの平均積荷トン数	16	59
労働者の平均賃金	2.30 ルーブリ	3.75 ルーブリ
積荷1トンあたりの工場主の支出	14.4 コペイカ	6.4 コペイカ

加工される銑鉄を手押車に積みこむ作業が比較され、旧方式と「科学的」な新方式が上の表のように比較されている。

資本はその支出を二分の一以下に低下させている。利潤は増加する。ブルジョアは有頂天になって、テイラーたちをほめちぎっている！

労働者ははじめはおまけを受けとる。だが数百人の労働者は解雇される。あとにのこった者は四倍もはげしく働き、仕事でへとへとになる。労働者の全精力が搾りとられ、そして追いだされる。若くて強い者だけが採用される。

科学のあらゆる法則によって汗が搾りとられているのである……

注) ……は本文中の略

第 18 卷 P642 『汗を搾りだす「科学的」方式』
『プラウダ』第 60 号、1913 年 3 月 13 日